

こちらでは、生物工学会誌第87巻（2009年）以降の巻頭言がご覧いただけます。

⇒ [過去号掲載記事（記事種別）一覧はこちら](#)

| [98](#) (2020) | [97](#) (2019) | [96](#) (2018) | [95](#) (2017) | [94](#) (2016) | [93](#) (2015) | [92](#) (2014) |
| [91](#) (2013) | [90](#) (2012) | [89](#) (2011) | [88](#) (2010) | [87](#) (2009) |

第98巻（2020）			
11号	横の「糸」の大切さ PDF	大利 徹	
10号	COVID-19の後 PDF	児島 宏之	
9号	漫文 PDF	川瀬 雅也	
8号	人類が身に付けた3つの特殊能力 PDF	今井 泰彦	
7号	科学者にとってのwell-being PDF	片倉 啓雄	
6号	日本のお酒を世界へ PDF	後藤 奈美	
5号	ノーベル賞受賞者から香る研究観 PDF	田口 精一	
4号	バイオ戦略2019 PDF	横田 篤	
3号	人工知能と工学の可能性 PDF	三宅 淳	
2号	研究の巡り合わせ PDF	柏木 豊	
1号	仮説を証明する PDF	高木 昌宏	
第97巻（2019）			
12号	アカデミアによる工学研究 PDF	高木 睦	
11号	実証研究を考える PDF	本多 裕之	
10号	「My hunch is .. (. 私の勘だと……)」または「私のゴーストがそう囁く……」 PDF	加藤 純一	
9号	微生物の学名と分類学が基盤となるもの PDF	鈴木 健一朗	
8号	日本酒が面白い PDF	西村 顕	
7号	複雑な微生物系に挑む PDF	金川 貴博	
6号	就任挨拶	新会長を拝命して PDF	高木 昌宏 (会長)
		BioscienceとBioengineeringを両輪として PDF	神谷 典穂 (英文誌編集委員長)
		令和時代の生物工学会誌 PDF	岡澤 敦司 (和文誌編集委員長)

5号	卒業研究は楽しく PDF ↓	太田 明德
4号	バイオものづくりは面白い PDF ↓	宇多川 隆
3号	生物工学会として温故知新 PDF ↓	秦 洋二
2号	あなたの研究の顧客は誰？ PDF ↓	栗木 隆
1号	いま、大学が求められていること PDF ↓	山本 秀策
第96巻 (2018)		
12号	次世代を担う若き研究者にエールを込めて！ PDF ↓	倉根 隆一郎
11号	企業研究者と大学教員 PDF ↓	堀内 淳一
10号	運か才能か PDF ↓	中山 亨
9号	時と生物工学 PDF ↓	朴 龍洙
8号	独走的研究のススメ PDF ↓	養王田正文
7号	SGUと学会のグローバル化 PDF ↓	伊藤 伸哉
6号	『生物工学会誌』の益々の発展を～和文誌あれこれ～ PDF ↓	稲垣 賢二
5号	異業種交流会への期待 PDF ↓	日野 資弘
4号	オールドバイオの楽しみ PDF ↓	下飯 仁
3号	新しい研究テーマを立ち上げる PDF ↓	谷口 正之
2号	泥臭い研究とスマートな研究 PDF ↓	辻 明彦
1号	技術立国日本における学会の使命と人財の育成 PDF ↓	木野 邦器
第95巻 (2017)		
12号	学問ノススメ PDF ↓	安部 淳一
11号	Vietnam奮闘記 PDF ↓	播磨 武
10号	科学の進歩と科学者の貢献 PDF ↓	山田 隆
9号	企業はもっと発表を、学会の活性化 PDF ↓	浅田 雅宣
8号	Delft Schoolに想うこと PDF ↓	駒形 和男
7号	幸せの無意識的共感のために PDF ↓	遠藤 銀朗
6号	＜就任挨拶＞新会長を拝命して PDF ↓	木野 邦器
5号	アジア若手国際交流のすすめ PDF ↓	長棟 輝行
4号	生物工学とバイオテクノロジー PDF ↓	山本 憲二

3号	オープンイノベーションに向けて PDF	清水 範夫
2号	研究と経営 PDF	近藤 恭一
1号	手なづけられるか人工知能 (AI) PDF	川面 克行
第94巻 (2016)		
12号	楊楓林教授との国際交流 PDF	古川 憲治
11号	非公開のオープンイノベーションとは PDF	広常 正人
10号	研究における個性 PDF	根来 誠司
9号	思えば遠くへ来たもんだ PDF	松井 和彦
8号	「そうそう」閑話 PDF	田谷 正仁
7号	科学技術立国と大学—ベンチャー経験者からの思い— PDF	高見澤一裕
6号	「世界を視野に地域から始めよう」の研究者人生 PDF	水光 正仁
5号	発酵放談 PDF	勝亦 瞭一
4号	「ものまもり」バイオへの期待 PDF	土戸 哲明
3号	創薬に関する研究に期待 PDF	芳本 忠
2号	新たな学際分野の創出と組織基盤強化 PDF	福田 秀樹
1号	年次大会の盛況を見て感じたこと PDF	五味 勝也
第93巻 (2015)		
12号	ある研究者の履歴書から PDF	中西 一弘
11号	地球環境問題に対して我が国はどこまで貢献できる？ PDF	菅 健一
10号	発見と発明に関する怪談 PDF	浅野 泰久
9号	外国人留学生の育成と支援 PDF	高木 博史
8号	酵素阻害剤とくすり PDF	森原 和之
7号	微生物学の発展と広がりの中で思うこと PDF	松下 一信
6号	< 就任挨拶 > 新会長を拝命して PDF	五味 勝也
5号	喜んでばかりはられない？ PDF	正田 誠
4号	これから研究室を立ち上げる方へ PDF	関口 順一
3号	国立大学改革について思うこと PDF	江崎 信芳
2号	糖質制限とミトコンドリア PDF	永井 史郎

1号	伝統は革新の連続～原点を見つめ、能動的に変化していこう～ PDF	倉橋 修
第92巻 (2014)		
12号	言いにくいこと PDF	大竹 久夫
11号	予想を超えた結果に出会うとき PDF	久松 眞
10号	なぜ「休眠遺伝子」なのか？—趣味の研究，道楽の研究— PDF	越智 幸三
9号	研究者マインドの確立のために PDF	河合富佐子
8号	企業研究者として PDF	恒川 博
7号	研究者，技術者に大切と思うこと PDF	藤井 隆夫
6号	歴史は繰り返す？ PDF	山根 恒夫
5号	ヒトの遺伝子を解析して感じたこと PDF	高木 敦子
4号	アンチエイジングと発酵β-グルカン PDF	岡部 満康
3号	次世代を担う個性（＝独創性）豊かな人材育成を夢見て PDF	小埜 和久
2号	産学官連携におけるコーディネーター（人）の役割 PDF	西野 徳三
1号	夢を紡ぐ、夢を繋ぐ PDF	園元 謙二
第91巻 (2013)		
12号	産学官連携と技術者視点 PDF	下田 雅彦
11号	学生に技術士を勧めよう PDF	浅野 行蔵
10号	国公立大学における教育研究費に思う PDF	林 英雄
9号	われわれはタンパク質を理解しているだろうか PDF	大島 泰郎
8号	「科学」と「技術」 PDF	高木 昌宏
7号	医療イノベーションと知財教育 PDF	石埜 正穂
6号	就任あいさつ	園元 謙二
	新会長を拝命して PDF 会員が欲する情報の発信をめざして PDF	藤原 伸介
5号	中国での共同ラボに託した夢の実現に向けて PDF	木田 建次
4号	実中研の歴史と未来 PDF	野村 龍太
3号	新しい時代への飛躍 PDF	五十嵐 泰夫
2号	オープン・イノベーションの本格化を目指して PDF	塚本 芳昭

1号	生物工学会100周年に向かって PDF ↓	柳 謙三
第90巻 (2012)		
12号	時代の目 PDF ↓	奥田 徹
11号	連携のすすめ PDF ↓	島田 裕司
10号	無から有, 組織, 分らせる PDF ↓	中西 透
9号	大学の第三の使命 PDF ↓	杉山 政則
8号	京都大学の産学連携について御存じでしょうか? PDF ↓	牧野 圭祐
7号	天からの贈り物 PDF ↓	石川 陽一
6号	ものづくりに想うこと PDF ↓	坂口 正明
5号	3.11からの再出発における科学の役目 PDF ↓	林 清
4号	イノベーションの起こし方 PDF ↓	松永 是
3号	分野融合の難しさと易しさ PDF ↓	湯元 昇
2号	研究者の楽しみ PDF ↓	木村 光
1号	年頭所感 - 学会創立90周年を迎えて - PDF ↓	原島 俊
第89巻 (2011)		
12号	バイオマス利用研究のすゝめ PDF ↓	鮫島 正浩
11号	信心の師となるも心を師とするなかれ PDF ↓	神尾 好是
10号	秋入学に想う PDF ↓	棟方 正信
9号	生物の多様性と若者への期待 PDF ↓	大宮 邦雄
8号	若者よ, Hazardous Journeyを目指せ! PDF ↓	今中 忠行
7号	“大学教授生態論”の序文 PDF ↓	緒方 靖哉
6号	就任挨拶-学会創立90周年から100周年への飛躍を目指して PDF ↓	原島 俊
5号	時代の変化に応じた国際学術交流を PDF ↓	石崎 文彬
4号	健忘症に対するささやかな抵抗 PDF ↓	谷口 誠
3号	バイオマス活用の促進に向けて PDF ↓	兒玉 徹
2号	麹菌と溶姫 PDF ↓	北本 勝ひこ
1号	若手研究者・技術者の人材育成のついて思うこと PDF ↓	奥村 康

第88巻 (2010)		
12号	事業仕分けと世界一 PDF	土佐 哲也
11号	生物と工学のギャップを埋める“生命の神秘” PDF	阪井 康能
10号	微生物増殖学のすすめ PDF	福井 作蔵
9号	日本生物工学会 うたかたの記 PDF	山田 靖宙
8号	未来技術の予測と検証のすすめ PDF	古川 謙介
7号	研究者よ、名を残せ PDF	依田 幸司
6号	新しい産業革命の渦中であって PDF	植田 充美
5号	E-バイオの幕開け PDF	石井正治
4号	アジアにおける今後の国際交流活動のあり方 PDF	小林 猛
3号	「科学者」からの提言 PDF	室岡 義勝
2号	テロワールと生物学 PDF	清水 健一
1号	日本生物工学会のゆくえ PDF	飯島 信司
第87巻 (2009)		
12号	パステルカラーの遺伝子組換え PDF	伊藤 清
11号	日本の技術の国際競争力ー東南アジアにおける環境ビジネスを例にー PDF	吉田 敏臣
10号	魅力が失われつつある職業研究者についての独り言 PDF	鎌形 洋一
9号	断想：五十年は一昔 PDF	左右田 健次
8号	水に生きるバイオー微妙な感性ー PDF	佐々木 健
7号	日本微生物学連盟の設立とIUMS2011札幌 PDF	富田 房男
6号	<就任挨拶>新会長を拝命して PDF	飯島 信司
	放線菌って、どんな生物？ PDF	宮道 慎二
5号	環境・バイオマス研究のあらたな取り組みへ PDF	長島 實
4号	チェンジー英文誌アジアにおける生物工学分野のトップジャーナルへ！！ PDF	大竹 久夫
3号	不確実にこそ新たな可能性あり PDF	森永 康
2号	和菌洋才 PDF	加藤 暢夫
1号	若き生物工学研究者に期待する PDF	手柴 貞夫

[▶このページのTopへ](#)

[⇒過去号掲載記事（記事種別）一覧へ](#)

[⇒生物工学会誌Topへ](#)